



独立行政法人 北海道病院 広報誌
地域医療機能推進機構

Vol.44

令和7年
2月7日発行

JCHO 北海道病院 だより

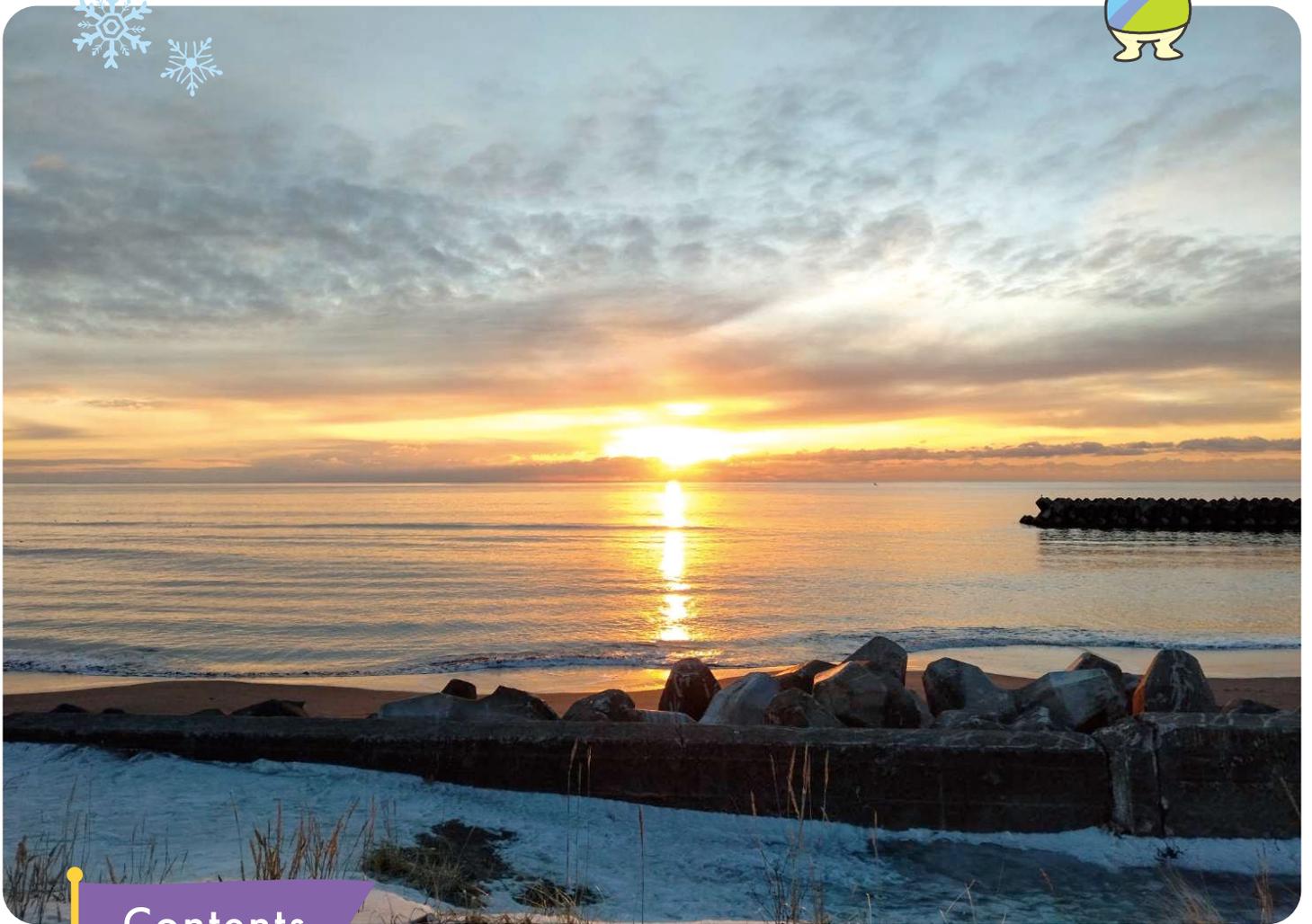
特集

P1 新年のごあいさつ

JCHO北海道病院
マスコットキャラクター
とよちゃん



P4 今号の診療科
腎・膠原病センターのご紹介



Contents

P3 地域講演会 開催報告

P5 連携医療機関のご紹介

P6 第65回 リバーサイド消化器懇話会

災害救急指定日

今号の一枚 ～表紙写真紹介～



新年の ごあいさつ



院長 古家 乾

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当院に賜りました格別のご厚情に対し、心より御礼申し上げます。

昨年は、医療を取り巻く環境が大きく変化した一年でした。診療・介護報酬の改定、働き方改革、医療費の増大と円安・物価の高騰、そして医療・介護従事者の不足など、私たち医療機関は多くの課題に直面しています。

このような状況下ですが、コロナ禍で中止していたイベントの一つである「JCHO北海道病院 夏まつり」を昨年9月14日に開催することができました。ご来場いただいた市民の皆様には、医療に関する講演、医療機器(内視鏡、Da Vinci等)の直接操作、様々な医療職種の仕事内容の紹介、健康相談などを通して新たな体験と交流の場となり、普段の医療とは一味違うご理解をいただく機会になったと感じています。本年もぜひ、ご家族で遊びにいらしてください。

一方、地域の急性期医療を担う地域支援病院として、とよひら周産期メディカルセンターへの改組、不整脈アブレーション治療やDa Vinciによるロボット支援手術の導入、電子カルテの更新と国の進める医療DXへの対応など、より質の高い医療サービスの提供に努めてまいりました。

本年は、さらなる医療DXの推進を図り、オンライン資格確認はもとより地域薬局との連携を深め、電子処方箋の普及また昨年12月からスタートしたマイナ保険証を利用した「救急時医療情報閲覧」、さらには「全国医療情報プラットフォーム」の利活用に向け順次導入を進めております。

また国が進める医療情報の標準化やこの1月から試験提供予定と言われている無床診療所に対する標準型電子カルテα版の開発が進んでいます。それに合わせて診療報酬改定DXとなる共通算定モジュールα版も先行医療機関に供給予定となっています。これらの本格実施は2026年度以降になりますが、その後には200床未満の病院に標準型電子カルテが提供され、2030年にはほぼ全ての病院・診療所で電子カルテが稼働することになるようです。

さらに2022年11月末にOpenAIがChatGPTを発表した後、この1年余りで医療界にも様々な生成AIやAIエージェントなどが急速な広がりを見せています。人材不足や働き方改革、医療の効率性には欠かせないシステムになると思われそうですが、バイアスやハレーション、個人情報保護、情報セキュリティといった課題も残されています。電子カルテや部門システム、AIを用いたソリューションを用いる環境は、必然的にオンプレからクラウドバイデフォルトに移行していくものと推定されます。このような新しい流れの中で、医療行政手続きを含めた医療・介護連携が、国民、医療者、国など全てが恩恵を受けるシステムに発展することを希望しております。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



副院長(消化器センター長・総合支援センター長)

数井 啓蔵



新年明けましておめでとうございます。

2024年は、元日の能登半島地震、二日の日航機と海保機の衝突事故から始まった1年でしたが、今年は今のところ平穏な年始を迎えております。

昨年は、当院は電子カルテの更新、周産期センターの増改築、ダビンチXi導入など盛りだくさんのイベントがありました。ロボット支援手術は、3月より外科・泌尿器科で始まり、前立腺癌30例、肺癌27例、直腸癌14例など計90例に上りました。今後は肝切除、膵切除に対して準備を進めております。

コロナ禍明け、病院に対する補助金もなくなり、光熱費・材料費の高騰によりどこの急性期病院も経営が逼迫してきております。そんな中でも当院は地域医療支援病院として地域医療を支えることを第一に考え年間全麻手術件数2,000件、救急車受け入れ2,000件を目標として急性期充実体制加算の施設基準を満たせるよう職員一同努力していきたいと思っております。地域の先生方と、顔の見える医療を心がけていきますので、本年もどうぞよろしく申し上げます。

副院長(周産期医療センター長)

長 和俊



新年明けましておめでとうございます。

COVID-19が5類に移行して1年半が経過しましたが、COVID-19は現在も流行を繰り返しています。また、「コロナ禍のリバウンド」あるいは「免疫負債」と言われる様に、COVID-19の病原体であるSARS-CoV-2以外の病原体に対する集団免疫が低下した結果、全国的に色々な感染症が次々と流行しています。2024年中に2度の手足口病の流行があり、2024年末からはマイコプラズマに続き、インフルエンザが大きな流行を見せています。さらに、中国でのヒトメタ

ニューモウイルスの流行にも注目が集まっています。札幌では、水痘の流行も報告されています。さらに、全国的には流行のサイクルが戻ってきたRSウイルスは、北海道では常に一定の報告が続いています。個人的には、今後には百日咳の流行が懸念されるのではないかと考えています。受験シーズンを迎えますので、インフルエンザ・ワクチンの接種やバランスの良い食事を心がけるなど、個人の免疫を高めていただきたいと思います。

JCHO北海道病院の周産母子センター(とよひら周産期メディカルセンター)では、2024年2月に新生児集中治療室(NICU)とその回復室(GCU)を整備して新装オープンしました。また、7月には緊急帝王切開に対応する専用の手術室を4階病棟内に設置しました。施設の充実に加えて、医療スタッフのトレーニングを重ね、周産期医療の充実を図っております。これからも、地域の周産期医療・小児医療に貢献できるよう精進してまいりますので、ご支援よろしく申し上げます。



新年のごあいさつ



附属介護老人保健施設 診療部長

大江 真司



コロナが5類になって1年半が経過しました。一時は感染者数が減ったこともありましたが、冬到来とともに再度増加傾向にあります。また、インフルエンザやマイコプラズマ感染症の流行とも重なり、去痰剤、鎮咳剤、抗生剤の在庫量の減少もあって医療関係者は気をもむ毎日だと思われます。そして、数日前のニュースでは、ヒトメタニューモウイルス感染症の流行がアジア各国で確認され、インバウンドによる訪日を契機に日本にも上陸し、日本での流行が予想されるとのことでした。既存のウイルスで重症化はしないとのことで、高齢者にとって油断はできません。コロナについては3~4年前に比べ重篤な患者は減りましたが、高齢の方や基礎疾患を持っている方はコロナが軽症であっても安静臥床が数日続くだけで歩行などの運動機能や嚥下機能が低下することが多く、ADLの低下が懸念されています。一番望ましいことは、コロナなどの感染症にならないことで、これには周囲の人達も含め外出時のマスク着用、外出後のうがい・手洗いの徹底が必要だと思われます。

当施設では、発熱や上気道症状のあるデイケアの利用者については、かかりつけ医への受診と自宅待機にて対応し、一方、入所者についてはコロナやインフルエンザに罹患しても、超早期発見、隔離、検温やオキシメーターの頻回チェック、必要に応じた隣接病院への入院をすることで、感染の流布を最小限にとどめ、その結果、短期間での収束となり、大事には至っておりません。スタッフおよびその家族についてもコロナやインフルエンザに罹患しても徹底した管理体制で対応しております。幸いなことに、クリスマス会などの恒例行事は予定どおり行われ、今後、感染症の収束とともにスタッフ一同、春に向かって進んでいこうと思っております。引き続き、皆様の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

地域講演会 開催報告

令和6年12月10日(火)

中の島まちづくりセンターにおいて

市民公開講座「地域講演会」を開催いたしました。



たくさんのご参加
ありがとうございました!



今回は統括診療部長 呼吸器内科 長井先生による「肺炎、こわい?こわくない?」、総合支援センター 主任 社会福祉士 山後さんによる「暮らしとお金・身元保証人などの事で頼れる方が身近にいない方へ」の2題の講演を行い、17名の参加がありました。

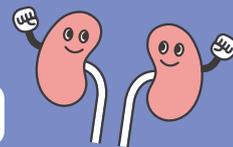
ご参加いただいた方々からはワクチン接種などについて質問があり、熱心にメモをとる姿が見られました。

今号の
診療科



腎・膠原病センター のご紹介

膠原病内科 医長 志田 玄貴



腎・膠原病センター

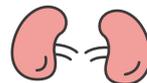
腎臓内科、膠原病内科は腎・膠原病センターとして連携しながら診療を行っています。腎臓内科2名、膠原病内科2名体制で、腎障害の鑑別や、腎生検、血漿交換療法、透析など腎疾患の合併する症例、自己免疫疾患や全身疾患が疑われる症例では特に密接な連携をとり、治療を行っています。



志田 医長

腎臓内科について

尿異常から慢性腎不全・ネフローゼ、慢性腎臓病のリスク評価、腎不全の保存期の治療から透析導入管理などに力点をおいて、地域の診療をサポートいたします。腎代替療法としては腹膜透析の導入、維持管理とともに、当院の維持血液透析の管理を担当しています。



腎代替療法選択外来(2019年より継続中)

- 担当** 看護師 **目的** 外来にて腎代替療法の選択を支援する
- 対象** 医師からの指示があった方
ご本人・ご家族が希望する方 など
- 内容** 血液透析、腹膜透析、腎移植といった腎代替療法の説明
面談形式での治療法の相談

保存期腎不全の病診連携を進めています

地域のかかりつけ医の先生方に協力していただき、ふたり主治医制での腎不全管理を進めています。

膠原病内科について

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群などの入院加療や、外来での維持治療を行っています。また、他診療科と連携し、呼吸器や肝炎など合併症のある患者さんの治療を行っています。



新患外来再開のお知らせ

長らくご不便をおかけしていましたが、体制が整いましたので、2024年10月より新患の受け入れを再開しております。



専門外来として地域の皆様、先生方のお役に立てるよう、
努力してまいります。



北海道病院とともに、地域の皆様の健康を支える
診療所・クリニックを紹介します

連携医療機関の紹介



腎臓内科めぐみクリニック

中の島で開業しております腎臓内科めぐみクリニックの院長の佐藤恵と申します。

JCHO北海道病院様とは2004年に(当時は北海道社会保険病院の名称でした)医局人事により赴任し腎臓内科と人工透析室の開設をさせていただきました。

佐藤 恵 院長



さて、慢性腎臓病(以下、CKD)は2012年には日本国内に1,330万人、8人に1人と言われていましたが最新の推計では2,000万人、5人に1人と言われています。最近健康診断でも積極的に指摘されるようになってきました。当院外来ではCKD患者さんのステージ別に生活習慣改善、血圧、減塩指導などを行っております。蛋白尿やネフローゼ症候群などさらなる精査加療が必要な場合は、JCHO北海道病院腎臓内科と医療連携させていただいております。

当院の**骨密度測定機器**は骨強度も解析可能です。骨粗鬆症のほか、CKDに伴う代謝性骨疾患の診断治療の一助となっております。



症状を伴うことが少ない慢性疾患と向き合うことはとても大変なことです。早期に介入することで脳血管、冠動脈などの動脈硬化性疾患による致命的合併症を回避することができ、将来的な透析治療も遠ざけることができる可能性が高いと考え、日々スタッフとともに熱く診療しております。

また、当院には**人工透析室**を併設しており合併症を最小化するべく全身管理を行っております。送迎もご希望の方で通院ご希望の方がいらっしゃいましたらいつでもお問い合わせください。



外来では、腎臓内科、一般内科診療のほか、各種予防接種(インフルエンザ、COVID-19、带状疱疹、肺炎球菌など)、健康診断、骨密度測定なども行っております。

何か不安に思われることなどございましたらお気軽にご相談ください。お待ちしております。



腎臓内科めぐみクリニック

〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島1条7丁目5-10

お問い合わせ TEL : 011-817-1300

診療時間

月・金	10:00~12:00	14:00~17:30
火	9:00~12:00	手術
水	予約診療	14:00~17:30
木・土	9:00~12:00	—
人工透析		8:30~

● 外来休診日 日曜・祝日

令和6年11月19日(火)第65回リバーサイド消化器懇話会を開催しました。会場とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催し、参加者は院内医師10名、院外医師29名、メディカルスタッフ6名、合計45名と沢山のご参加をいただきました。

仁榆会札幌病院 副院長 前野七門先生と札幌しらかば台病院 院長 後藤啓先生を座長にお招きし、「鼠径部ヘルニア治療の進化と当院における治療の実際」「早期肺癌の診断・治療最前線」の2題の講演後、特別講演として、摂津診療所/大阪医科薬科大学 竹内利寿先生より「重症度別に逆流性食道炎の治療を変えますか? ~医療経済効果の評価から~」についてご講演いただきました。

次回の開催予定

次回は**2025年3月**の開催予定となっております。

決まり次第追ってご連絡いたします。
皆様のご参加をお待ちしております。



災害救急指定日

令和6年

2月 15日(土)
27日(木)

3月 13日(木)
22日(土)



※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

今号の1枚

表紙写真紹介

初日の出
登別の海岸にて



撮影者：薬剤部長 高橋 知宏

JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

〈午前の受付時間〉 8:15~11:00 (診療開始 9:00~)

〈午後の受付時間〉 12:30~15:30

(診療開始は各診療欄をご覧ください)

● 病院代表電話 : 011-831-5151

● 予約変更直通電話 : 011-831-5489 (平日 9:00~16:00)

※担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金	
総合診療救急科	内科系 午前 午後(救急車のみ)	交代診療 高島 一生 高橋 将成	前田 由起子 榊原 寛大 徳原 教	交代診療 榊原 寛大 水上 和也	前田 由起子 津田 敏和 高橋 将成	前田 由起子 高島 一生 木村 銀河 不整脈外来 (第3金曜日)【予約】 木村 銀河 ペースメーカー外来(第1金曜日)	
循環器内科	午前 午後 (診療 13:00~)		吉田 俊人				
心臓血管外科	午前						
呼吸器内科	午前	1診 相澤 佐保里 2診 水島 亜玲	原田 敏之 谷口 菜津子	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 水島 亜玲	相澤 佐保里 長井 桂	
消化器内科	午前 午後(診療 14:00~)	1診 古家 乾 2診 馬場 英 3診【予約】野口 卓郎(化学療法) 坂本 直哉【予約】	目野 晃光 定岡 邦昌 合田 智宏(化学療法)	古家 乾 菅野 究 竹内 啓(化学療法)	大原 正嗣 定岡 邦昌 田口 純(化学療法)	保浦 直弘 馬場 英 田中 智之	
腎臓内科	午前 午後【予約】	山本 準也 山本 準也		工藤 孝司 工藤 孝司	山本 準也 山本 準也	工藤 孝司 工藤 孝司	
膠原病内科	午前【予約】 午後【予約】	志田 玄貴 志田 玄貴	津田 敏和 津田 敏和		志田 玄貴 志田 玄貴	志田 玄貴 志田 玄貴	
糖尿病・ 内分泌内科	午前 午後 【予約】	1診 2診 牧野 圭祐	半田 喬久 牧野 圭祐	牧野 圭祐	半田 喬久 亀田 玲奈	半田 喬久	
内科	午前	1診 2診	大江 真司【予約】 前田 由起子	竹内 正	大江 真司【予約】		
小児科	午前	1診 板倉 治 2診 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	出張医 椿 淳子	
		3診 長 和俊(10:00~)		(第2・4水曜日) 宮川 雅美	中久保 佐千子(9:00~) (月2回)【神経】【予約】 長 和俊(10:00~)	長 和俊(10:00~)	
	午後 (診療 13:30~)	一般 板倉 治 慢性外来【予約】 [フォローアップ] 新生児フォロー アップ【予約】 乳児健診 【予約】	川畑 歌穂 [フォローアップ] 伏屋 菜穂 [フォローアップ]	板倉 治 椿 淳子 [内分] 加藤 はるか [喘息・アレルギー]	乳児健診【予約】 忠鉢 もも [フォローアップ] 予防接種【予約なし】 受付時間12:30~14:30 長 和俊(15:00~)	板倉 治 加藤 はるか [喘息・アレルギー] 中久保 佐千子(神経)(月2回) 永井 礼子(循環器)(月2回)	川畑 歌穂 伏屋 菜穂 [フォローアップ] 忠鉢 もも【フォローアップ】 平松 泰好【神経】(月1回) 乳児1ヵ月健診 【産婦人科外来】
		1診 庄野 泰弘 2診 酒井 俊彦 3診 浅野 毅	庄野 泰弘 酒井 俊彦 寺島 理代	庄野 泰弘 酒井 俊彦 寺島 理代	庄野 泰弘 寺島 理代 芝山 浩樹	芝山 浩樹 酒井 俊彦 浅野 毅	芝山 浩樹 寺島 理代 浅野 毅
外科	午前	一般 植木 伸也 専門外来 (初診・紹介) 予約 乳がん検診	肝・胆・膵外科 乳がん検診	乳腺・甲状腺外科 乳がん検診	胆石症外来 乳がん検診	呼吸器外科(肺癌、気胸、嚥胸) /内視鏡外科 乳がん検診	そけいヘルニア (脱腸)外来 乳がん検診
	午後 (診療14:00~)	一般 乳腺外来【予約】		(第2・4週)田口 和典	(第2・4週)押野 智博		
泌尿器科	午前 午後(診療14:00~)	1診 高柳 明夫 2診 植木 洋平(9:30~)	出張医 西尾 優希(9:30~)	高柳 明夫 西尾 優希(9:30~)	植木 洋平	出張医 植木/西尾(9:30~)	
産婦人科	午前	1診 山田 俊【予約】 2診 交代診療(予約外) 3診 小山 貴弘【予約】	小山 貴弘【予約】 交代診療(予約外) 佐々木 瑞恵【予約】	小田 泰也【予約】 交代診療(予約外) 山田 俊【予約】	佐々木 瑞恵【予約】 交代診療(予約外) 高岡 真佐人【予約】	山田 俊【予約】 交代診療(予約外) 吉瀬 馨【予約】	
		4診 助産師外来(妊婦健診)	助産師外来(妊婦健診)	助産師外来(妊婦健診)	助産師外来(妊婦健診)	助産師外来(妊婦健診)	
	午後 (診療14:00~)	1診 中村 有里【予約】 2診 助産師外来(産後育児外来) 3診 助産師外来(産後育児外来)	佐々木 瑞恵 和痛外来(14:00) 助産師外来(産後育児外来)(14:30~) 吉瀬 馨	山田 俊 助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(産後育児外来) 産後健診	
眼科	午前	1診 藤尾 直樹 2診 伏津 壘	藤尾 直樹 伏津 壘	藤尾 直樹 伏津 壘	藤尾 直樹 伏津 壘	藤尾 直樹 伏津 壘	
	午後 (診療14:00~)	1診 2診			藤尾 直樹 伏津 壘		
耳鼻咽喉科	午前	1診 原淵 翔平 2診 太田 亮	原淵 翔平 太田 亮	原淵 翔平 太田 亮	原淵 翔平 太田 亮	原淵 翔平 太田 亮	
	午後 (診療14:00~)	1診 2診	原淵 翔平 太田 亮			原淵 翔平 太田 亮	
皮膚科	午前	1診 安食 さえ子 2診 小菅 敦子	安食 さえ子 小菅 敦子	安食 さえ子 小菅 敦子	安食 さえ子 小菅 敦子	安食 さえ子 小菅 敦子	
	午後 (診療14:00~)	1診 安食 さえ子【予約】	小菅 敦子【予約】			安食/小菅 (交代診療)【予約】	
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子	
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充		
禁煙外来【予約】	午後(診療13:30~)	長井 桂					

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

URL <https://hokkaido.jcho.go.jp> facebook <https://www.facebook.com/jchohok>

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉 TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

ホームページはこちら

